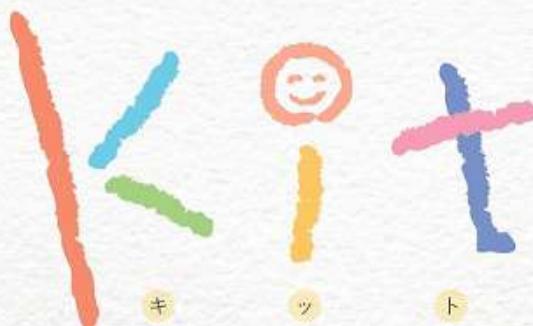


□ ナテックがお届けする防災情報マガジン

きっと家族の
命をつなぐ。
きっとその時
役に立つ。



創刊号

一人でも多くの人に、
「備える」大切さを
伝えたい。

「ナテックって、何の会社?」と思った方も
多いでしょう。私たちは自動車部品を中心
としたプラスチック成形を生業としてきま
した。自社の技術を生かして、初めて「耐震
マット」を作ったのが東日本大震災の頃。
また、2018年の福井豪雪では、道路上に孤
立する車列を報道で見聞きし「車中泊」の
備えの大切さを痛感しました。このような
天災から少しでも“身を守る術”を広めてい
きたいという使命感から、本格的に防災事
業へ注力していくことになりました。
そんな私たちの活動を知っていただくとど

もに、防災の大切さを広く伝えるために
「Kit」を創刊します。
日本は災害大国です。いつか自分の身に災
害が起きたときのために、一人ひとりが少
しでも多くの防災知識を持っておくことが
大切だと考えます。「Kit」はそのお手伝いを
していきます。

人々の安全な暮らしを守るために、自分た
ちにできることを精いっぱいやる。その使
命感を持って、読者の方にきっと役立つ情
報をお届けします。



賛同企業・団体様募集!

「備える」ことは、もしもの時の心のゆ
とりや冷静な判断につながります。
ナテックは、防災啓蒙活動に賛同して
いただける企業・団体様を募集してい
ます。詳しくは裏面お問い合わせ先ま
でご連絡ください。



ママのための 防災ヒント

避難所で子どもと
ストレスなく過ごすには?



もし自分が被災したら…子どもを連れて避
難所へ行く必要があるかもしれません。避
難所は生活に必要なインフラが十分に
整っていないため不便なことも多く、小さ
な子どもにとってはストレスを感じやすい
環境です。防災リュックにはトランプなどの
電源を必要としないレクリエーショングッ

ズを入れておくと、ストレス発散の一助に
なるでしょう。もちろん、ママ自身もストレ
スをためないことが大切です。音楽を聴け
るよう防災リュックにイヤホンを入れてお
いたり、いつもと同じ美容グッズを入れて
おいたりすると、リラックスに役立ちます。



製品開発秘話

光るホイッスル



会社として防災への関心を深める中で、被災時にSOSを伝えたくても、人の声は届きにくいという問題を知りました。その課題に対し、プラスチック成形会社としてできることを考え抜き、ひとつの答えとして「光るホイッスル」を誕生させました。

開発時に目指したのは、とにかく有事の際に「使える」ホイッスルです。当時、質の良い蓄光ホイッスルは少なかったのですが、自社でプラスチック材料の配合から検討を重ね、暗闇の中で1.5時間光るホイッスルの開発に成功しました。緑色を採用したの

は光り方が最も強いからです。あらゆるホイッスルを研究し尽くし、大きな音・高い音を兼ね備えた、防災に特化したホイッスルを実現しました。

蓄光タイプなので、電池切れで使えなくなる心配がありません。いざというときに子どもの安全を守れるよう、啓発活動の一環として近隣の小学校へ7000個ほど寄付させていただきました。今後はさまざまなイベントを通じて、大人から子どもまで「マイホイッスル」の大切さを広めていきたいですね。

株式会社ナテック
よしちか
代表取締役 永井 良周

詳しい製品情報は
こちら!



実験

どこまで届く?

光るホイッスルの音

ナテック本社前の長い一本道。ホイッスルの音はどこまで届くのか…? 風の強い2月のある日、実験を決行しました!



子どもがホイッスルをなくしそうで心配…

デコレーションイベントで
お気に入りの1本を!

東海地方のショッピングモールを中心に、自分だけの「光るホイッスル」を作れるイベントを行っています。好きなシールをたくさん貼ればお気に入りのホイッスルが完成。大切に手元に残しておくきっかけづくりとしてご活用ください。



結果、400m先まで
はっきり聞こえました!

遮へい物の少ない環境下とはいえ「存在を知らせる」という役割を十分に果たす結果といえるでしょう。また、開発チームの狙い通り、比較的肺活量の少ない女性が吹いても相手の姿がほとんど見えなくなる位置までしっかり聞こえました。

発行者 株式会社ナテック

お問い合わせはKit編集部まで!

住所 〒490-1205

愛知県あま市花正寺浦 55 番地

TEL 052-449-6222

MAIL natec-emergency@natec01.co.jp

